

セグメント情報／損益の状況

Kirayaka Bank

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に行う対象となっているものであります。

当行グループは、主として国内において、当行が行う銀行業務を中心に、連結子会社等においてリース業務、クレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等を行っております。

当行グループは、銀行業務は「銀行業」を報告セグメントに、リース業務は「リース業」を報告セグメントとしております。また、連結子会社等が行うクレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等は、その金額の全体に対する重要性を考慮し「その他」に含めております。「銀行業」は主に預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、「リース業」は、主に機械・器具備品等のリース取引を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は経常利益であります。また、セグメント間の内部経常収益は、第三者取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

	2019年3月期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	20,093	6,322	26,415	1,181	27,597	△ 4	27,593
セグメント間の内部経常収益	511	55	567	491	1,059	△ 1,059	—
計	20,605	6,378	26,983	1,673	28,657	△ 1,064	27,593
セグメント利益	1,682	217	1,899	409	2,309	△ 464	1,844
セグメント資産	1,384,639	17,755	1,402,394	48,096	1,450,491	△ 54,826	1,395,664
セグメント負債	1,320,517	12,511	1,333,029	46,447	1,379,476	△ 50,904	1,328,572
その他の項目							
減価償却費	1,355	17	1,373	22	1,395	—	1,395
資金運用収益	15,201	1	15,202	134	15,337	△ 446	14,890
資金調達費用	351	105	457	7	464	△ 30	434
持分法投資利益	—	—	—	21	21	—	21
持分法適用会社への投資額	—	—	—	132	132	—	132
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	141	2	143	7	151	—	151

- (注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。
3. 調整額は以下のとおりです。

- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△4百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
- (2) セグメント利益の調整額△464百万円は、セグメント間消去△416百万円及びのれんの償却△48百万円等です。
- (3) セグメント資産の調整額△54,826百万円は、セグメント間消去△54,923百万円及びのれんの未償却残高96百万円です。
- (4) セグメント負債の調整額△50,904百万円は、セグメント間消去です。
- (5) 資金運用収益の調整額△446百万円は、セグメント間消去です。
- (6) 資金調達費用の調整額△30百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	19,623	6,080	25,704	689	26,394	△ 60	26,334
セグメント間の内部経常収益	320	58	378	478	856	△ 856	—
計	19,943	6,139	26,082	1,167	27,250	△ 916	26,334
セグメント利益	1,561	269	1,831	98	1,929	△ 283	1,646
セグメント資産	1,323,829	18,223	1,342,052	43,126	1,385,179	△ 49,542	1,335,637
セグメント負債	1,262,353	11,877	1,274,231	41,694	1,315,926	△ 45,434	1,270,492
その他の項目							
減価償却費	1,269	7	1,277	22	1,300	—	1,300
資金運用収益	14,720	0	14,721	123	14,844	△ 263	14,580
資金調達費用	233	88	321	8	330	△ 29	301
持分法投資利益	—	—	—	20	20	—	20
持分法適用会社への投資額	—	—	—	134	134	—	134
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	222	21	244	9	253	—	253

- (注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。
3. 調整額は以下のとおりです。
- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△60百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
- (2) セグメント利益の調整額△283百万円は、セグメント間消去△235百万円及びのれんの償却△48百万円等です。
- (3) セグメント資産の調整額△49,542百万円は、セグメント間消去△49,590百万円及びのれんの未償却残高48百万円です。
- (4) セグメント負債の調整額△45,434百万円は、セグメント間消去です。
- (5) 資金運用収益の調整額△263百万円は、セグメント間消去です。
- (6) 資金調達費用の調整額△29百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

国内・国際業務部門別粗利益

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	14,816	33	14,850	14,455	31	14,487
資金運用収益	15,168	35	15,201	14,688	34	14,720
資金調達費用	351	2	353	233	2	233
役員取引等収支	1,451	2	1,454	1,379	0	1,379
役員取引等収益	2,900	4	2,905	3,025	1	3,026
役員取引等費用	1,448	1	1,450	1,646	0	1,646
その他業務収支	277	309	586	1,051	0	1,052
その他業務収益	1,122	309	1,431	2,289	0	2,290
その他業務費用	845	—	845	1,237	—	1,237
業務粗利益	16,545	345	16,891	16,886	32	16,919
業務粗利益率	1.25%	6.27%	1.28%	1.30%	0.37%	1.30%

- (注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引でございます。なお、当行は特定取引勘定非設置行であるため、特定取引収支は該当ございません。
2. 資金調達費用は金銭の信託運用見合費用（2019年3月期一百万円、2020年3月期0百万円）を控除して表示しております。
3. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金負債の利息でございます。
4. 業務粗利益率＝業務粗利益／資金運用勘定平均残高×100

業務純益

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
業務純益	2,551	3,107
実質業務純益	2,551	3,400
コア業務純益	2,538	3,461
コア業務純益（投資信託解約損益を除く。）	2,110	3,063

業務純益

1. 業務純益＝業務収益－（業務費用－金銭の信託運用見合費用）
 業務収益＝資金運用収益＋役員取引等収益＋その他業務収益
 業務費用＝資金調達費用＋役員取引等費用＋その他業務費用＋一般貸倒引当金繰入額＋経費（臨時的経費を除く）
2. 実質業務純益＝業務純益－（一般貸倒引当金繰入額）
3. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

資金運用勘定・調達勘定の平均残高、利息、利回り

1. 国内業務部門

(単位：百万円、%)

	2019年3月期			2020年3月期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	(5,408)	(2)	1.15	(8,473)	(2)	1.12
うち貸出金	1,316,588	15,168		1,295,645	14,688	
うち商品有価証券	2	0	0.46	0	0	0.56
うち有価証券	238,203	2,614	1.09	206,504	2,244	1.08
うちコールローン	27	0	0.00	—	—	—
うち預け金	64,960	64	0.09	56,156	55	0.09
資金調達勘定	1,314,089	351	0.02	1,286,929	233	0.01
うち預金	1,216,500	343	0.02	1,200,583	227	0.01
うち譲渡性預金	57,440	32	0.05	53,433	27	0.05
うちコールマネー	37,926	△ 26	△ 0.06	32,232	△ 22	△ 0.06
うち売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち借入金	1,925	—	—	1,800	—	—

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高 (2019年3月期17,690百万円、2020年3月期9,313百万円) を、控除して表示しております。
 2. 資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高 (2019年3月期一百万円、2020年3月期1,417百万円) 及び利息 (2019年3月期一百万円、2020年3月期0百万円) を、控除して表示しております。
 3. () 内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息 (内書き) でございます。

2. 国際業務部門

(単位：百万円、%)

	2019年3月期			2020年3月期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	5,507	35	0.65	8,578	34	0.43
うち貸出金	—	—	—	—	—	—
うち商品有価証券	—	—	—	—	—	—
うち有価証券	5,204	35	0.68	8,384	34	0.44
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	—	—	—	—	—	—
資金調達勘定	(5,408)	(2)	0.04	(8,473)	(2)	0.03
うち預金	5,507	2	0.04	8,578	2	0.04
うち譲渡性預金	95	0	0.04	103	0	0.04
うちコールマネー	—	—	—	—	—	—
うち売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち借入金	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高 (2019年3月期一百万円、2020年3月期一百万円) を、控除して表示しております。
 2. () 内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息 (内書き) でございます。
 3. 国際業務部門の国内店外貨建取引の平均残高は、月次カレント方式 (前月末 T T 仲値を当該月のノンエクスチェンジ取引に適用する方式) により算出してあります。

受取利息・支払利息の分析

1. 国内業務部門

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	△ 408	△ 1,624	△ 2,032	△ 241	△ 237	△ 479
うち貸出金	△ 32	△ 393	△ 425	252	△ 320	△ 67
うち商品有価証券	△ 0	0	△ 0	△ 0	0	△ 0
うち有価証券	△ 372	△ 1,221	△ 1,593	△ 347	△ 22	△ 370
うちコールローン	—	—	—	△ 0	—	△ 0
うち預け金	4	0	4	△ 8	△ 0	△ 8
支払利息	△ 6	△ 178	△ 185	△ 7	△ 110	△ 118
うち預金	△ 20	△ 191	△ 211	△ 4	△ 111	△ 116
うち譲渡性預金	17	6	23	△ 2	△ 3	△ 5
うちコールマネー	3	△ 0	2	3	0	4

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、利率による増減要因に含める方法で算出してあります。

2. 国際業務部門

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	△ 114	△ 16	△ 130	20	△ 21	△ 1
うち貸出金	—	—	—	—	—	—
うち商品有価証券	—	—	—	—	—	—
うち有価証券	△ 115	△ 14	△ 130	21	△ 23	△ 1
うちコールローン	—	—	—	—	—	—
うち預け金	—	—	—	—	—	—
支払利息	△ 8	△ 1	△ 9	1	△ 1	0
うち預金	△ 0	0	△ 0	0	0	0
うち譲渡性預金	—	—	—	—	—	—
うちコールマネー	—	—	—	—	—	—

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、利率による増減要因に含める方法で算出してあります。

役務取引の状況

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
役務取引等収益	2,900	4	2,905	3,025	1	3,026
うち預金・貸出業務	1,111	—	1,111	1,291	—	1,291
うち為替業務	958	4	962	950	1	952
うち証券関連業務	41	—	41	83	—	83
うち代理業務	50	—	50	40	—	40
うち保護預り・貸金庫業務	12	—	12	11	—	11
うち保証業務	63	—	63	79	—	79
役務取引等費用	1,448	1	1,450	1,646	0	1,646
うち為替業務	345	1	347	341	0	342

その他業務利益の内訳

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
その他業務収益	1,122	309	1,431	2,289	0	2,290
外国為替売買益	—	3	3	—	0	0
商品有価証券売却益	—	—	—	—	—	—
国債等債券売却益	129	305	434	505	—	505
国債等債券償還益	—	—	—	—	—	—
金融派生商品収益	—	—	—	0	—	0
その他	993	—	993	1,784	—	1,784
その他業務費用	845	—	845	1,237	—	1,237
外国為替売買損	—	—	—	—	—	—
商品有価証券売却損	0	—	0	0	—	0
国債等債券売却損	—	—	—	—	—	—
国債等債券償還損	421	—	421	566	—	566
国債等債券償却	0	—	0	—	—	—
金融派生商品費用	—	—	—	—	—	—
その他	423	—	423	671	—	671
その他業務利益	277	309	586	1,051	0	1,052

営業経費の内訳

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
給料・手当	5,201	4,827
退職給付費用	629	422
福利厚生費	1,105	1,040
減価償却費	1,355	1,268
土地建物機械賃借料	553	521
営繕費	21	18
消耗品費	90	93
給水光熱費	155	137
旅費	31	29
通信費	298	236
広告宣伝費	126	98
租税公課	955	961
その他	4,329	4,190
合計	14,853	13,848

(注) 1. 損益計算書中「営業経費」の内訳でございます。
2. 退職給付費用には、退職金が含まれております。